



プロサッカー選手 (FC 東京)  
 やまだ まさゆき  
**山田 将之さん** (北秋津出身)

南小学校、南陵中学校出身の 23 歳。高校サッカー強豪・青森山田高校に進学後、法政大学を経て、プロサッカーチーム・FC

東京に加入。ポジションは、主に守備を行うディフェンダー。昨年 11 月、J1 初ゴールをあげた。

## プロの世界で走り続けるための二つの原動力

186cm の長身に、がっしりした体格。長年にわたりサッカーをしてきたからだろう、小麦色に日焼けした顔に浮かぶ笑顔が印象的なのは、プロサッカー選手の山田将之さんだ。

サッカーを始めたのは、小学 1 年生のとき。3 歳年上の兄がサッカーをやっていたため、自分もやるのが当たり前だったという。「特に、サッカーに憧れを持った少年というわけではなかったんです」と苦笑いしながら、サッカーとの出会いを振り返る。

特別な思いがあって始めたわけではなかったサッカー。しかし、山田さんはその後、現在に至るまで約 17 年間サッカーを辞めることはなかった。

小～中学校時代は、所沢でずっとサッカーを続け、高校進学の時、転機を迎えた。進学したのは、高校サッカーの強豪・青森山田高校。親元を離れての寮生活が始まった。極寒の青森での慣れない寮生活、厳しい指導陣と先輩たち、激しいレギュラー争いなど、山田さんを取り巻く環境は過酷を極めた。「何度も辞めようと思ったし、実際に辞めていく同級生を見てきました」。当時を語る山田さんの表情が硬くなる。では、なぜそんな状況でも続けられたのか。「二度とあの時に戻りたくないと思うほどつらかったけれ

ど、それでも辞めなかったのは、両親の支えと、一緒に入部した仲間たちの存在があったからです」

山田さんの父は、あえて何も語らず、子どもには自分で考えて行動することを促す人だった。父母ともに、子どもが下した決断を全力で応援する。「青森に行くことも、プロの道に進むことも、自分が決めたことを全力で応援してくれました。昔から、見に来られる試合は、どこの会場でも全部見に来て応援してくれるんですよ、うちの両親。そんな両親に恩返ししたい気持ちもあって、ずっとサッカーを続けて来られたんだと思います」

「高校時代、諦めそうになった時も、仲間がいたから『負けてたまるか！頑張ろう！』と励まし合えました。横のつながりがなかったら、きっと辞めていました」。つらい時を共に乗り越えた仲間とは、プロになった今も交流が続いている。

両親と仲間、この二つが昔も今も山田さんを支え、動かす原動力なのだ。

現在、プロ 2 年目。「いつかは海外でプレーしたいです。そのためには、今やるべきことを一つずつこなし、進み続けたいです」と目標は高い。いかなるときも歩みを止めないための原動力。それを二つも持っている山田さんだからこそ、これからも走り続けていけるに違いない。(取材：佐々木)

## 今月のプレゼントクイズ！

ツリーハウスでわくわくランチ♪所沢産の牛肉入りカレー！  
**ランチプレートセット ペア券**  
 (カレー+ドリンク+サラダ+デザート)  
 (2,100円相当×20組)



まるで秘密基地のようなツリーハウスでのランチは、楽しいこと間違いなし！ツリーハウスカフェ nicorico 特製カレーは、なんと所沢産の見澤牛入り。楽しい&おいしいランチタイムが過ごせるはず。敷地内には無料の遊び場もあるので、お子さん連れも大歓迎です♪

● ツリーハウスカフェ nicorico (ニコリコ)  
 北野1-22-22  
 ☎2941-3152

- ◆ 今月のクイズ  
8・9・11面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると？
- ◆ 応募方法 (4月10日(火)締め切り)
- ①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦4月号の感想を記入し、〒359-8501 広報課に郵送・市庁 (Qプレゼント) で応募
- ◎ 当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。
- ◆ プレゼント提供事業者も募集中！  
詳細は、市庁 (Qプレゼント募集) をご覧ください。

## 読者感想文

- 特集『知る』のトピラを開こう』は、改めて市内にある図書館の役割を知る機会になりました (並木・40代男性)
- 初めてレファレンスサービスを知りました。とても興味を持ったので、利用してみようと思います (山口・30代女性)
- 編集から ● 図書館の便利なサービスをご存知ない方も多かったようです。特集をきっかけに「利用してみよう！」と思ってもらえてうれしい限りです。身近にある便利な図書館を、ぜひご利用ください。
- 花見の記事があるとうれしい (北秋津・40代男性)
- 編集から ● 市内の桜情報を本号7面

- に掲載しました。桜の写真を撮ったら、みんなのひろばに投稿してみてくださいね！ (14面参照)
- いつも楽しみにしています。体験イベントなどを見ると、ぜひ参加したいと思います (東所沢・60代女性)
- 所沢に住んでいても知らないことがたくさん。毎回、広報紙を読んで休日の過ごし方の参考にさせてもらってます (美原町・40代女性)
- 編集から ● ご愛読ありがとうございます。読者の皆さんが「行ってみたい」「やってみたい」と感じ、所沢を好きになるような情報を今後もお伝えしていきます。

## 編集後記

所沢ゆかりの輝く人物を紹介するのはつらつところっこ。「こんなにすてきな方が所沢にいたのか！」と驚くことが多々あります。そんな方々のお話を直接伺えるのは、広報課職員だからこそできる貴重な体験。いつの日か必ずこの業務を離れる身としては、これからも一回一回の取材や出会いを大切にしたいと改めて感じます。出会いと別れの季節。喜びや不安とともに新たな一歩を踏み出します (佐々木)

4月から平成30年度がスタートします。特集の「施政方針」は、30年度の所沢市の方向性がわかります。いつもの特集より少し堅い感じがあるかもしれませんが、ぜひご一読ください (鹿島)

民間企業の「住みたい街ランキング」で、所沢が大きく上昇！といううれしいニュース。所沢のファン♥がさらに増えるよう、今年度も広報ところざわは、所沢の魅力をお伝えしていきます (加賀谷)